

茨協ニュース

第88号

平成26年3月1日

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



安全は小さな努力の積み重ね
成果は大きく無災害



CONTENTS

目次

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ■ 平成26年 新春賀詞交歓会開催 …………… 2 | ■ 理事会だより…………… 13 |
| ■ 「第30回労働安全衛生標語」金賞入選 …………… 8 | ■ 各委員会だより…………… 13 |
| ■ 平成26年度主要事業等の開催予定について …… 9 | ■ 会員告知板…………… 13 |
| ■ 労働災害発生報告システムご協力をお願い………… 9 | ■ 会員紹介ページ…………… 14 |
| ■ 平成25年 労働災害事例 …………… 11 | ■ 編集後記…………… 15 |
| ■ ノロウイルスに注意しましょう…………… 12 | |

平成26年

新春賀詞交歓会開催

1月23日(木)、当協会の新春賀詞交歓会が、「水戸プラザホテル」において100名を超える出席者のもと、盛大に開催されました。

ご来賓には、山口やちゑ副知事をはじめ、田山東湖自民党県連幹事長、永野和則労働基準部長、鈴木睦夫生活衛生課長、さらに関係の業界から(一社)茨城県警備業協会の島村宏会長、(公社)東京ビルメンテナンス協会の佐々木浩二副会長など、多数のご臨席を賜りました。

主催者を代表して、大山会長より「顧客の信頼を、社員の資格の取得によって得ていくことが大切なので、これを今年の基本方針にしたい」という力強い挨拶がなされました。

新たな年を迎え、夢と希望に満ちた幕開けにふさわしい和やかな雰囲気の中、ご来賓の方々のご祝辞をいただいた後、宴は鏡開き、乾杯、祝宴と進むにつれ次第に盛り上がり、懇親を深めるたいへん有意義な交歓会となりました。

ご多忙中のところご出席いただきましたご来賓の方々、また会員各社の皆様には、誠にありがとうございました。



(一社)茨城県ビル
メンテナンス協会

会長 大山 進

改めまして、明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、決意を新たに、新年を迎えられたことと存じ上げます。

本日は、ご多忙にもかかわらず、茨城県副知事 山口やちゑ様、自民党県連幹事長 田山東湖様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、恒例の賀詞交歓会が開催できますことを、心から感謝申しあげる次第でございます。

さて、昨年、当協会では、「会社の大切な資源は人材である」、これを旗印として掲げ、人材が育成される社内環境の整備に向け、鋭意、事業を展開してまいりました。

人材を育成する上で、まず大切なことは、社員の心身の健康と、作業の安全確保でございます。

それを踏まえ、昨年の「労働安全衛生大会」では、「生活習慣病の予防」と、「心の栄養の大切さ」、そして「万全の安全対策」を強く訴え、積極的な取り組みをお願いしました。

次に大切なことは、社員相互のコミュニケーションでございます。これが良好でなければ、社員は育ちません。

そのため、昨年の技術者研修会では、あえて専門技術から離れたテーマを用意し、「グループ討議」を行うこととしました。

討議を通じて、自身のコミュニケーション能力を磨くと同時に、快適に働ける職場環境を作り上げていくにはどうすれば良いか、真剣に検討をいただきました。

次に大切なことは、技能の鍛錬でございます。

昨年、当協会から、初めて「全国ビルクリーニング技能競技会」にテルウェル東日本(株)茨城支店の井口和子選手が出場しました。

これは全国の「ビルクリーニング技能士」約4万人の頂点を決める競技会で、地区大会

を勝ち抜いた18名の選手による最高級の技能を競い合うものです。

当然のことながら、当協会では、井口選手の強化を図るため、ベテランの協会講師が中心となり、全面的に練習の支援を行いました。

結果として、6位以内の入賞はできませんでしたが、井口選手は、まさに業界の宝物であり、技能を極めた人材と言えます。

本人努力はもとより、関係各位の人材育成に向けたご尽力に、心から敬意を表するところでございます。

人材という大切な資源を増やすことは、簡単にできることではありません。会員の皆様方の、日々の努力の積み重ねが重要でございます。今後とも、継続的な取り組みを期待しますので、よろしく願いいたします。

次に、当協会は、昨年4月から「一般社団法人」として、新たなスタートをしましたが、二つの新しい取り組みを行いました。

一つは、昨年、県内9カ所の小学校を対象に、清掃の時間を活用して、小学生に清掃の方法を教える「小学生清掃活動トレーニング事業」を開始したことでございます。

この事業は、社会貢献の一つとして、24会員から延べ67名の社員と、OB講師延べ9名、総勢にして延べ76名を派遣し、小学生821名に清掃技能の現地指導を行いました。

小学校の評判は上々で、大変喜んでいただくことができました。改めて、参加会員と指導をされた社員の皆様方に、深く感謝申し上げます。

来年度も実施の予定でございますので、引き続きご協力をお願いいたします。

二つめは、協会のホームページを一新し、「会員の紹介コーナー」を充実させたことでございます。この「紹介コーナー」によって、会員の皆様方のビジネスチャンスが少しでも拡大しますことを、心から願っております。

次に、新年早々、大変嬉しいニュースが入ってまいりました。

それは、全国協会の「平成25年度 第30回労働安全衛生標語」で、当協会が提出した「安全は小さな努力の積み重ね 成果は大きく無災害」が、何と「金賞」の栄冠に輝いたことでございます。

金賞は一点だけですから、全国の21,552点の標語の頂点となるものです。

作品を提供された日本不動産管理(株)茨城支社の新井道明さんに、心からのお祝いと、敬意を表する次第でございます。

なお、この標語につきましては、ステッカーのようなものを作成し、事務室等に掲示をお願いする予定でございます。今、その準備をしておりますので、よろしく願いいたします。

ご案内のとおり、私どものビルメンテナンス業は、労働集約型の産業でございます。

社員一人一人の資質が、直接、サービスの品質に影響をいたします。

ビルメンテナンスの業務は、年々、複雑化、高度化するとともに、より質の高いサービスが求められております。

その中で、清掃業務が、社会的な評価と信頼をいただきながら着実に成長をしていくためには、作業結果と業務管理体制を評価・改善する専門資格者（インスペクター）の必要性を、近年、強く感じております。

建物の設備管理の業務でも、同じように、しっかりとした技術と技能を有する「設備管理技能士」が必要となっております。

そこで、当協会では、「信頼は資格の取得から」、これを今年の基本方針として、会員の皆様方にご協力をお願いしたいと思います。

資格を取得するためには、各職場での環境づくりが重要でございます。これは、まさに「人材育成」でもあり、時間も必要とします。多くの社員が「よし、勉強しよう。頑張っ

みよう。」、そう思えるような職場をめざさなければ、我々の業界の発展は望めないと考えております。

ビルメンテナンス業を取り巻く状況は、限度を超えたコストダウンなど、依然として厳しいものがありますが、顧客の信頼に応え、県民の皆様方に衛生的で快適な生活環境を提供することが、私どもの使命であります。

経済状況の厳しさに負けることなく、常に質の高いサービスをめざすことで、会員の皆様方が更なる飛躍を遂げますことを、大いに期待するところでございます。

最後に、本日ご出席の皆様方のご多幸と、会員企業の益々のご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



茨城県副知事

山口 やちゑ 様

本日は、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、大変盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

大山会長さんをはじめ、会員の皆様方には、日頃より、建築物・設備の適正な管理や保安警備など、利用者が安全で快適に過ごせる空間づくりにご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます次第です。

さて、昨年、東日本大震災や原発事故の影響が依然として残り、皆様方には引き続きご苦勞の多い一年であったことと存じます。

一方、我が国の景気は緩やかに回復しつつあり、本県におきましても、昨年上半期の工

場立地件数が全国第1位となる、あるいは、日野自動車古河工場の本格稼働の前倒しが決まるなど、明るい兆しも見え始めております。

本年は、震災からの復興をしっかりと進めるとともに、本県をさらに発展させていくための重要な年であります。引き続き、行財政改革を進めながら、災害に強い県土づくりや風評被害の払拭、一層の企業誘致などに努め、「人が輝く 元気で住みよい いばらき」の実現に全力で取り組んでまいります。

とりわけ、県民の皆様が安全で快適に生活できる環境づくりを進めていくうえで、建築物の環境衛生管理をはじめ、電気通信や空調設備、防災などの保安警備といった幅広いサービスを提供されているビルメンテナンス協会の皆様の役割は非常に重要でございます。

さらに、近年は、地球温暖化防止対策をはじめとした環境問題への対応や、節電などの省エネルギー対策、さらには放射性物質の除染など、新たなニーズを受けて、皆様方には従前にも増して専門的な知識と技術の修得が求められていることと存じます。

このような中、協会の皆様が、各種の研修会などを積極的に開催され、従事者の管理技術の研鑽に努められるなど、一丸となってサービスの質の向上に熱心に取り組まれていますことは、誠に心強い限りでございます。

県といたしましては、引き続き、協会の皆様との情報交換等に努めながら、建築物の衛生環境の維持向上等による安全・快適な住環境の提供と省エネルギー社会の実現に取り組んでまいりますので、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。



茨城県労働局
労働基準部長

永野和則様

本日は、茨城県ビルメンテナンス協会賀詞交歓会が、このように盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

大山会長様はじめ、会員の皆様におかれまして、平素より、労働安全衛生大会などをはじめとした様々な災害防止活動や法定労働条件の維持向上に向けた取組などを通じて、労働行政の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢は、昨年6月から有効求人倍率が上昇しており、持ち直しているものの、未だに有効求人倍率が1倍を下回る状況にあるなど、依然として厳しい状況にあります。茨城労働局及び県内の労働基準監督署では、いかなる経済・雇用情勢のもとでも、法定労働条件の履行確保を重要課題の一つとして位置づけ、今後もその改善に向けた取組に努めていくこととしています。

ビルメンテナンス業は労働集約型産業でございますので、ひとりひとりの労働者の皆様の資質が、直接、サービスの品質に影響を及ぼすこととなりますが、適正な労働条件の下、安心して働ける環境を維持していくことが、ひいては、産業の健全な発展につ

ながるものと考えております。

また、労働災害の状況をみますと、まだ、速報値の段階ですが、平成25年は、全産業で、死亡災害が34人と前年に比べ6人の減少、休業4日以上死傷災害は2,515件と、平成24年より164件の減少となっています。

第12次労働災害防止推進計画の初年度として、概ね順調なスタートとなっていますが、昨年は、年の後半から死亡災害が増加傾向に転じたところであり、今年の災害発生動向も予断の許さない状況になっており、今年も気を引き締めて災害防止対策を進めていく必要があると考えています。貴協会及び会員の皆様におかれましては、今年も活発な労働災害防止活動を展開されることをご期待申し上げます。

その他、雇用問題、労働問題に関するあらゆる分野の課題に対して的確に対処して参ることとしておりますが、茨城労働局、各労働基準監督署、各ハローワークへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会及び会員各社の益々のご発展と、本日も列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。



情報ファイル

■県ビルメンテナンス協会が賀詞交歓 県ビルメンテナンス協会（大山進会長）は23日、水戸市内のホテルで賀詞交歓会を開き、写真、会員や山口やちる副知事などの来賓約110人が出席。大山会長は「業界を取り巻く環境は厳しいが、人材

2014年1月30日付
茨城新聞

の育成を事業の中心に捉え、健全で質の高いサービスを目指していききたい」と述べた。





「平成25年度 第30回労働安全衛生標語」

主催 公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

栄えある金賞の栄冠に輝く!!

金賞作品：安全は小さな努力の積み重ね 成果は大きく無災害

作者：日本不動産管理(株)茨城支社 新井 道明さん

金賞は、この1点のみであり、全国の21,552作品の頂点となるものです。

それだけに、今回の金賞入選はまさに快挙であり、当協会では初めてのことです。

当協会では、この作品によって、会員の皆様方に、ビルメンテナンス業の各現場で労働災害の未然防止対策を強力に推し進めていただくため、各会員へ作品を記したステッカーを配布いたします。

労働安全衛生標語 金賞を受賞して

日本不動産管理(株)茨城支社 新井 道明



「新井さんが応募した標語、全国で金賞ですよ。」

鷹巣支社長から電話での知らせでした。

茨城県ビルメンテナンス協会の募集に応募し、賞をいただき、それで終わった事と思っておりませんでしたので、二重のサプライズです。

今回の「安全は小さな努力の積み重ね 成果は大きく無災害」の標語は、私の脳裏に、ある著名な外国人の言葉で“いくつもの小さな努力が完成をもたらす。しかも、その完成は決して小さなものではない”と言うがあります。

これをベースに、生産工場での実務勤務が長く、死亡を含む数多くの労災事故を間近に見てまいりました経験から、次の事柄等にも繋がりました。「ハインリッヒの法則」を、多

くの方がご存知のことと思います。1つの重大事故を防ぐには、300の小さな事故を無くせ、それが法則の主旨です。この300を未然に防ぐには、どう具体化して全員参加形へと展開させていくか、職場単位での、それこそ小さな努力の積み重ねしか方法は無いと考え、こつこつと実行をすることで実効をあげた経験がありました。

その成果発表から、茨城労働局長賞を受賞した輪の中に居させていただいたこともありました。

これらの事柄等から導かれた標語でしたが、今回、選考委員の皆様方にその思いを汲み取っていただけたものと、心から感謝をしております。

ありがとうございました。

また、全国協会様の各媒体でご利用いただけるとのこと、気恥ずかしさと共に光栄と思っております。

平成26年度 主要事業等の開催予定について

| 担当委員会 | 事業名等 | 日時等 | 場所 |
|-----------|--|------------------------------------|----------------------------------|
| | 第5回理事会 第6回理事会 | 3月18日(火) 13:30～ 6月11日(水) 10:30～ | 協会 会議室 ホテルレイクビュー水戸 4F なでしこ |
| | 監査 | 5月14日(水) 10:00～ | 協会 会議室 |
| 総務委員会 | 第40回通常総会 | 6月11日(水) 13:30～ | ホテルレイクビュー水戸 2F 飛天の間 対象校 9校 |
| | 小学生清掃活動トレーニング事業 (仮) 会員相互のコミュニケーションを図る事業 | 6月中旬～11月中旬まで 11月6日(木)・7日(金) | 未定 |
| 建物衛生委員会 | 清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習) | 7月18日(金) 9:00～ | 茨城県総合福祉会館 4F 中研修室 |
| | ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 | 11月中旬～12月上旬の4日間 9:00～17:00 | 茨城県立青少年会館 2F 大研修室 |
| 設備保全委員会 | 技術者研修会 | 9月4日(木) | 茨城県総合福祉会館 4F 中研修室 |
| 労働安全衛生委員会 | 労働安全衛生大会 | 10月20日(月) 13:30～ | 茨城県総合福祉会館 4F 大研修室 |
| 広報委員会 | 茨協ニュースの発行 | 8月1日・12月1日・ 3月1日 | |

(※ 3月1日 現在)

労働災害発生報告システム ご協力をお願い

労働安全衛生委員会 委員長 田口 順章

本システムは、各都道府県協会が発生した労働災害について情報共有をすることにより、同種の災害の未然防止や、従事者の安全確保など、業界全体の労働災害防止意識の高揚・職場環境の改善を図るほか、労働災害の減少による諸経費の節減に貢献するものです。

この報告は、無災害でもする必要があります。

ところが、当協会では、本システムに基づく毎月の「労働災害発生報告書」の回答率が大変低い状況となっております。

このような事情から、下記の報告について、会員各位の一層のご協力をお願いします。

記

1 会員の報告事項

(1) 災害発生報告書(様式1)

該当：休業なし～休業91日未満の業務災害及び通勤災害

報告：毎月、翌月の10日までに当協会へ報告(無災害の場合にも報告)

メールアドレス：ibma1@ceres.ocn.ne.jp FAX：029-305-5112

(2) 重大災害発生報告書(様式5)

該当：休業91日以上、死亡 報告：発生時、随時報告

2 報告様式

報告に用いる各様式(次ページ参照)につきましては、当協会ホームページの「労働災害発生報告システム」バナーからダウンロードしてご利用ください。

平成 年 月 災害発生報告書

様式 1

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会 殿

報告日 平成 年 月 日

| | | | | | |
|-------------|--------|--------------------|---------|----------------------|---|
| 災害区分 | 1. 無災害 | 2. 業務災害 | 3. 通勤災害 | 企業名 報告者氏名 連絡先 | TEL: () |
| 災害発生年月日 | | 災害発生時刻 | | 災害発生場所 | |
| 平成 年 月 日 曜日 | | 午前・午後 時 分頃 | | 都道府県 市区町村 具体的な場所: | |
| 被災者性別 | 被災者年齢 | 被災者職種 | 被災者経験年数 | 被災者災害部位 | 被災者傷病名 |
| 男・女 | 才 | 清掃、設備、警備 その他() | 年 月 | | |
| | | | | | 被災者休業日数 |
| | | | | | 1. 休業なし 4. 休業15日誌 2. 休業4日誌 5. 休業31日誌 3. 休業4日誌 |
| 災害発生状況 | | | | | 災害発生状況 |
| 考えられる原因 | | | | | |
| 再発防止対策 | | | | | |

※ 無災害の場合でも、毎月その翌月の10日までに必ず報告してください。

メール: ibma1@ceres.ocn.ne.jp

FAX: 029-305-5112

重大災害発生報告書

様式 5

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会 殿

報告日:平成 年 月 日

| | | | | | |
|-------------|--------|------------------------|---------|----------------------|--|
| 災害区分 | 1. 無災害 | 2. 業務災害 | 3. 通勤災害 | 企業名 報告者氏名 連絡先 | |
| 災害発生年月日 | | 災害発生時刻 | | 災害発生場所 | |
| 平成 年 月 日 曜日 | | 午前・午後 時 分頃 | | 都道府県 市区町村 具体的な場所: | |
| 被災者性別 | 被災者年齢 | 被災者職種 | 被災者経験年数 | 被災者災害部位 | 被災者傷病名 |
| 男・女 | 才 | 清掃、設備、 警備 その他() | 年 月 | | |
| | | | | | 被災者休業日数 |
| | | | | | 1. 休業91日以上 2. 死亡 <small>該当箇所を○で囲んで下さい。</small> |
| 災害発生状況 | | | | | -災害発生状況図- |
| 考えられる原因 | | | | | |
| 再発防止対策 | | | | | |

※ 1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、茨城県ビルメンテナンス協会へ報告してください。

(メール ibma1@ceres.ocn.ne.jp)

(FAX 029-305-5112)

平成25年1月～12月の労働災害事例につきまして、会員各社から報告されたものの一部を参考として掲載いたします。

1. 業務災害

| No. | 年齢 | 性別 | 経験年数 | 発生日時 作業別 | 障害模様 | 程度 | 発生状況及び原因 |
|-----|----|----|--------|-------------------------------------|------|-------------|--|
| 1 | 63 | 男 | 3年8ヶ月 | 1月12日(土) 16:15 車両 業務中 | 骨折 | 休業31日 以上 | 車両の全般清掃終了後、洗浄台上をバキュームを引いて移動中、バキュームホースのキャップが落下したため回収しようとしてステップに足を掛け下りようとした際、バランスを崩し転落した。定められた箇所以外から下りようとしたため。 |
| 2 | 70 | | 16年1ヶ月 | 1月28日(木) 12:45 室内 業務中 | 骨折 | 休業31日 以上 | 作業準備のため席を立ち、数歩歩いたところで足が床で躓き、右足首を外側にひねり負傷した。床は塩ビシートで平坦であり、隆起物や障害物はなかったが、被災した場所は椅子と壁の間隔がやや狭く、歩きにくい箇所であった。 |
| 3 | 30 | | 5年8ヶ月 | 2月1日(金) 8:40 屋内プール 業務中 | 裂創 | 休業なし | 屋内プールサイドで、朝の清掃中、ポリッシャーのレバー角度調整をしていたところ、足に接触して裂創した。防護靴の不着用が原因とみられる。 |
| 4 | 64 | 男 | 2年 | 4月18日(木) 15:30 駅通路 業務中 | 滅創 | 休業4日 未満 | エスカレーター両サイドの定期清掃のため、柵(高さ80cm)を乗り越えようとした際にバランスを崩し、ステンレス側の角に右足の脛をぶつけた。脚立を使用することになっていたが使用しなかった。 |
| 5 | 61 | 男 | 2ヶ月 | 6月26日(水) 10:00 校内 業務中 | 虫さされ | 休業なし | ツゲの生垣を電動バリカンで剪定中に左手甲を蜂にさされた。普通の軍手を使用していた。 |
| 6 | 54 | | 8ヶ月 | 7月15日(月) 13:40 走行路 業務中 | 捻挫 | 休業なし | 構内留置線と仕業線間にある給水ホースに足を引っ掛け転びそうになり、左手をついた際に負傷した。歩行の際、足元をよく確認しなかったため。 |
| 7 | 61 | 男 | 34年3ヶ月 | 8月12日(月) 15:15 構内 業務中 | 虫さされ | 休業なし | 構内において、枝がフェンス内に垂れ下がっていたため、鎌で除去しようとした際、枝の中に蜂の巣があり、右腕をさされた。不用意に繁茂している枝を鎌で除去したことによる。 |
| 8 | 66 | 男 | 6年8ヶ月 | 9月23日(月) 12:40 倉庫 業務中 | 腫れ | 休業なし | 倉庫内で清掃用具を取るため、体を支えようとした際、手がドアの締め切り部にかかり、このときドアが閉まり、左手中指第一関節部が挟まれた。普段から行っているため、安易に考え、危険意識がなかった。 |
| 9 | 21 | 男 | 2年7ヶ月 | 11月6日(水) 10:00 業務中 | 骨折 | 休業なし | 吸収式冷温水機保守点検・水室開放作業で、ヘッダー(約60kg)を取り外してグレーチングに置く際、右手中指がヘッダーとグレーチングに挟まれ、骨折した。2人作業での声の掛け合い、手を挟まれない処置が不十分。 |
| 10 | 41 | 女 | 1ヶ月 | 12月12日(木) 14:15 ホテル内階段 業務中 | 損傷 | 休業4日 未満 | ゴミ出しのため、内階段を利用し下りる際、足を踏み外し踊り場まで落下。顔面のみ強打、上前歯体損傷し、唇を切るケガを負った。ゴミ袋を持っていたために足元が確認できず、踏み外した。 |

2. 通勤災害

| No. | 年齢 | 性別 | 経験年数 | 発生日時 | 障害模様 | 程度 | 発生状況及び原因 |
|-----|----|----|--------|-------------------|----------------|------------|---|
| | | | | 作業別 | | | |
| 1 | 24 | 男 | 1年6ヶ月 | 1月18日(金) | 骨折 | 休業4日 未満 | 出勤のため、自転車で、数日前の降雪で部分的に路面凍結した場所で滑り、街路樹に左手をつきながら衝突した。部分的に凍結している道路を自転車で走行したため。 |
| | | | | 8:45 | | | |
| | | | | 自転車走行帯付歩道 出勤途上 | | | |
| 2 | 49 | 男 | 24年4ヶ月 | 1月23日(木) | 捻挫・ 打撲 他 | 休業4日 未満 | 帰宅途中、軽自動車を運転中、通常のルートを走行中に渋滞により停止後、再び走り出した際、後方を走る軽自動車が車両後部に追突した。相手方のナビ操作による前方不注視が事故原因。 |
| | | | | 18:10 | | | |
| | | | | 道路上 帰宅途中 | | | |
| 3 | 50 | 男 | 3年 | 2月25日(月) | 頸椎捻挫 | 休業4日 未満 | 自動車で出勤途上、渋滞のため停車していたところ、後続車が前日の降雪による路面凍結で滑り、ブレーキを踏んだが間に合わず追突された。後続車が車間距離をとらず走行し、ブレーキが間に合わなかったことが事故原因。 |
| | | | | 8:05 | | | |
| | | | | 道路上 出勤途上 | | | |

ノロウイルスに注意しましょう

最近、県の内外ではノロウイルスが原因で、おう吐、下痢を起こす方が増えています。ノロウイルスは、口から体内に入り感染します。

- ① 外出後、調理前、食事前、トイレ後などは、必ず石けんで手を洗う習慣を身につけ感染を予防しましょう
- ② 患者のふん便やおう吐物の処理にあたっては、使い捨ての手袋及びマスクを着用するなど、十分注意しましょう。
- ③ 汚物を処理した後は、石けんでしっかり手を洗うとともに、「うがい」もしましょう。

感染予防の基本は手洗いです。
石けんを用い、30秒以上、手を洗いましょう。

○感染症や食の安全に関する情報は、茨城県の下記HPをご覧ください。

感染症に関する情報 ⇨ <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/yobo.htm>

食の安全に関する情報 ⇨ <http://www.shoku.pref.ibaraki.jp>

茨城県保健福祉部作成パンフレットから抜粋

理事会だより

第9回常任理事会

日時 2月17日(月) 16:00～17:30
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、宮内副会長、曾根・鷹巣・
高野・池田・田口各常任理事
砂押専務理事

- 議題
- (1) 第10回常任理事会の開催について
 - (2) 第5回理事会の開催について
 - (3) 第40回通常総会の開催について
 - (4) 監査及び予備監査の実施について
 - (5) 平成26年度の主要事業の日程等について
 - (6) その他

各委員会だより

建物衛生委員会

◇ 事業計画策定会議

日時 1月17日(金) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 曾根委員長、大曾根・藤原副委員長、
塚越・山口・塩谷・篠崎各委員

議題 (1) 平成26年度建物衛生委員会事業計画
の策定について
(2) その他

広報委員会

◇ 第6回委員会

日時 2月14日(金) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 池田委員長、古市副委員長、館・助川各
委員

議題 (1) 「茨協ニュース(第88号)」の発行に
ついて
(2) その他

◇ 編集会議

日時 2月27日(木) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 宮内副会長、池田委員長、館・助川各委員

議題 (1) 「茨協ニュース(第88号)」の編集作
業について
(2) その他

会員告知板

退会(26年2月28日付)

京成ビルサービス(株) 土浦事業所

会 員 紹 介

Ibaraki Building Maintenance Association

常総ビル整美株式会社

当社は、昭和54年7月に旧下館市（現 筑西市）においてビルメンテナンス業を始めました。

当初は官公庁の清掃が主でしたが、つくばエキスポ'85のメンバーに加えていただき、いろいろな視点に注目して現在は一般企業様の総合管理も合わせて行っております。

常にお客様の要望に応じてご不便をおかけしないように「快適環境のお手伝い」を目指しております。

常陽メンテナンス株式会社

弊社は、昭和59年3月に茨城県土浦市で常陽システムサービス(株)として創業。平成7年9月に常陽メンテナンス(株)に商号変更、10月に本社を水戸市に移転。平成9年1月に首都圏事業部を取手市に開設。平成14年4月に水戸市けやき台の現在地に本社移転。東京本店、千葉支店、さいたま支店、横浜支店、その他首都圏全域をはじめ、関東甲信越一円をカバーし、建築物環境管理のトータルプランナーの旗の下建築物総合管理業・警備業・水道検針及び徴収業務を通して、あまねく社会に貢献して参ります。今後とも、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



本社



首都圏事業部



須永ビルサービス株式会社

当社は昭和41年6月1日に設立。

茨城県古河市に位置し、県内は基より近隣の東京、埼玉、栃木を活動範囲としております。

ビルメンテナンス業をはじめとし、時代のニーズにこたえ、最近では排水管清掃業、産業廃棄物収集運搬業の業務を拡張し緊急対応も行い、地域の皆様の信頼を得て地域貢献に努めて参ります。

配水管高圧洗浄 産業廃棄物収集運搬
各種ビット・側溝清掃・汚泥処理

・配水管詰まり
・管内カメラ調査

ビルクリーニング
受水層・外壁



建物総合管理・産業廃棄物収集運搬
須永ビルサービス 茨城県古河市新久田945
TEL0280-48-0639

株式会社 セフテック

当社は、昭和46年創業以来、ビル管理業務を中心に地域の皆様に大きな信頼（心）で支えて頂いて参りました。そのことを忘れずに、今までもこれからも真っ直ぐに心を持って誠実にお応えしていきます。

経営理念【心】

三つの心 「人の心・真の心・強い心」



全ての皆様の【心】を大切に、毎日の業務を誠実に行って参りますので、今後共ご支援・ご指導賜りますよう、宜しくお願い致します。

次号の会員紹介は、総合建物サービス(株)、(株)大正クエスト、太平ビルサービス(株)、(株)高商、高橋興業(株)にお願いする予定です。ご協力よろしく申し上げます。

■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

寝不足です。

ついつい観てしまいました「ソチオリンピック」。日本との時差は5時間と聞きますが、その割には日本での深夜に行う競技が多すぎた気がします。決勝を現地時間で22～23時に行った競技もあったとのことで、選手の皆さんも大変ですよ。

2/7～2/23の期間で開催された大会ですが、たくさんの感動をいただきました。今回のテーマは「Hot. Cool. Yours (ホットでクールなみんなの大会)」皆さん知ってました？

個人的には、特に「団体競技」の観戦中に力が入りました。「ジャンプ」「フィギュアスケート」「カーリング」等です。チームワークっていいですね。

日本勢の結果は様々でしたが、全力を尽くした選手の皆さんに「お疲れ様、ありがとう」と伝えたいです。

今回の「茨協ニュース」が発行される頃には、「パラリンピック」が開催中かと思われますので(3/7～3/16)、そちらもしっかりと応援したいと思います。

私が広報委員として「茨協ニュース」の発行に参加して、今回が7号目になります。

編集会議に参加する度に、学ぶことがたくさんあります。

これからも広報委員会の一員として、「茨協ニュース」を手取る方々のお役に立てるよう、取り組んでいきたいと思えます。

茨城ビル代行(株)
古市 茂樹

今号の編集者

◎委員長

池田 弘(常総ビル整美(株))

◎編集委員

舘 由紀夫(新生ビルテクノ(株))

助川 和徳(日興美装工業(株))

◎副会長

宮内 隆夫(関東ビルサービス(株))

発行所

茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail: ibmal@ceres.ocn.ne.jp
http://www.ibaraki-bma.or.jp/

責任者 会長 大山 進

編集責任者 広報委員長 池田 弘

発行回数 年3回

印刷所 (有)クリエイティブサンエイ